







子宮頸がん治療開発マップ 2023.12.










※特殊組織型（小細胞癌など）を除く

対象 (FIGO2008)	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 /適応外薬
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎 子宮全摘術 			
Stage IB1	広汎子宮全摘術 ± 術後補助療法  放射線療法	JCOG1101 腫瘍2cm以下に対する 準広汎子宮全摘術 2012.12→2022.8 	GOG 263 術後再発 中リスク群 に対する術 後補助療法 CERVANTES 術後再発 中リスク群 に対する 術後補助療法	JGOG 1087(JACC試験) 早期子宮頸癌に対する新 術式腹腔鏡下広汎子宮全 摘術の非ランダム化検証 試験 2021.9~ ROCC/GOG3043 早期子宮頸癌に対 するロボット支援 下広汎子宮全摘術 2022.3~
Stage IB2	再発中リスク群 - 術後補助放射線 療法 			
Stage IIA	再発高リスク群 - 同時化学放射線 療法	JCOG0102 術前化学療法 2004. 11→2005.4 	単独RT vs CCRT (Phase III) 2010.4~ 単独RT vs 術後照射なし (Phase III) 2021.4~ (新規掲載)	JGOG 1082(AFTER試験) 再発高リスク術後群 に対する術後補助療法 RTOG 0724 術後再発高リスク群 に対する術後補助療法
Stage IIB	同時化学 放射線療法	IMRT：強度変調 放射線治療		CCRT vs TP or TC (Phase III) 2019.8 ~ CCRT vs CCRT + TC (Phase III) 2009.9~
Stage IIB (bulky)			INTERLACE試験 IB1(リンパ節転移) IB2,II,IIIB,IVA CCRT vs. weekly TC-CCRT (Phase III) 2012.3~ CALLA試験 IB2-IIIB(リンパ節転 移) IIIA-IVA CCRT vs. CCRT + Durvalumab (Phase III) 2019.2~2021.4 KEYNOTE-A18 IB2-IIIB(リンパ節転 移) III-IVA CCRT vs. CCRT+Pembrolizu mab (Phase III)2020.5~	
Stage III				
Stage IVA				
Stage IVB	局所治療で 制御可能 局所治療で 制御不能	局所治療で制御不能 JCOG0505  TP療法 vs. TC療法 2009.11→2011.12 JCOG1311 TC±Bev vs. ddTC±Bev 2015.10→2022.3	局所治療で制御不能 BEATcc TP(TC)+Bev vs. TP(TC)+Bev+Atezolizumab 2018.8-2021.8	
再発	手術 または (同 時化学) 放射線 療法 標準化学療法後 に増悪しMSI-H Pembrolizumab 単剤療法 標準化学療法後増悪 Cemiplimab イリノテカン等単剤 療法または緩和治療		2 nd line innova TV301 単剤化学療法 vs. Tisotumab vedotin 2021.2-	セミプリマブ

CCRT（同時化学放射線療法）：化学療法（標準はシスプラチン 40 mg/m²/w 5-6回投与）と外部照射（全骨盤照射）±腔内照射の同時併用

TC：パクリタキセル+カルボプラチン、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC TP：パクリタキセル+シスプラチン

MSI-H：マイクロサテライト不安定性 BEV：ベバシズマブ 2022年9月本邦でもペンブロリズマブが進行又は再発の子宮頸癌に適応拡大となっている。

対象 (FIGO2008)	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
Stage IA	旧Stage IA 類内膜癌G1: 子宮体癌基本手術 オプション: 妊孕性温存療法   	<p>JCOG1412 Stage IB-IIIC: 子宮体癌基本手術 + 骨盤リンパ節郭清 vs. + 傍大動脈リンパ節郭清 2016.12~ 2022.11 </p>	ANZGOG-ENDO3 推定I期症例 TH+BSO+センチネルLN生検 vs TH+BSO 第III相試験 (登録中)	FELICIA 妊孕性温存療法 MPA単独 vs MPA+Metformin (750mg) vs MPA+Metformin (1500mg) 第IIb相試験 (登録中)
Stage IB	類内膜癌G1を除く Stage IA Stage IB-IV: 子宮体癌基本手術+後腹膜リンパ節手術+術後補助化学療法* (ドキシルピシン+シスプラチン またはパクリタキセル+カルボプラチン)		再発中・高リスク群の術後補助療法 EORTC-55102(ENGOT-en2) TC vs 経過観察(両群小線源療法許容) 第III相試験(追跡中)	REMPE (JGOG2051) 妊孕性温存療法後の子宮内再発への MPA療法 第II相試験 (登録中)
Stage II	*低リスク(類内膜癌G1/G2で Stage IA/IB、脈管侵襲なし) 以外の場合には術後補助化学療法		NRG-GY020 high intermediateのdMMR類内膜癌 小線源療法or骨盤照射 vs 小線源療法or骨盤照射 +Pembrolizumab 第III相試験 (追跡中)	PORTEC-4a 統合分子リスクプロファイルに 基づいた術後放射線療法 腔内照射 vs 骨盤外照射 第III相試験 (追跡中)
Stage IIIA	手術オプション Stage IA 腹腔鏡下子宮体癌基本手術+骨盤リンパ節郭清		Keynote-B21(ENGOT-en11) 根治手術後の再発高リスク群 TC vs TC+Pembrolizumab 第III相試験 (追跡中)	ECLAT (AGO) IB-II期, IA期 G3/特殊, LN腫大なし 子宮体癌基本手術 vs 子宮体癌基本手術+PLN+PAN 第III相試験 (登録中)
Stage IIIB	頸部間質浸潤症例では単純子宮全摘に 替わり広汎または準広汎子宮全摘術。 漿液性癌・明細胞癌症例、腹水細胞診陽性症 例に対して大網切除術追加。		特殊組織型 NRG-UC1972(追跡中) HER2過剰発現のある漿液性癌 CAN-STAMP(追跡中) 漿液性癌 or p53変異型 ROCSAN(ENGOT-en8) (登録中) 進行再発癌肉腫 (子宮/卵巣) RAIMBO(ENGOT-en14) (登録中) 分子プロファイル別術後治療 X-PORTEC-042 (登録中) p53野生型全身化学療法後維持療法 Selinexor vs placebo	進行再発症例の初回化学療法 DUO-E (ENGOT-en10) TC vs TC+Durvalumab vs TC+Olaparib+Durvalumab 第III相試験 (結果公表)
Stage IIIC	化学療法・放射線療法・姑息的手術療法   			RUBY (ENGOT-en6) TC vs TC+Dostarlimab 第III相試験 (結果公表)
Stage IVA	化学療法・放射線療法・手術療法 オプション 類内膜癌G1またはプロゲステロン受容体 陽性: 黄体ホルモン療法  			NRG-GY018 TC vs TC+Pembrolizumab 第III相試験 (結果公表)
Stage IVB				AtTEnd (ENGOT-en7) TC+Placebo vs TC+Atezolizumab 第III相試験 (追跡中)
再発	Lenvatinib+ Pembrolizumab			LEAP-001 (ENGOT-en9) Lenvatinib+Pembrolizumab vs TC 第III相試験 (追跡中)
				GOG-0286B TC vs TC+Metformin 第II/III相試験(追跡中)
			SIENDO (ENGOT-en5) IV期, 再発, 再々発症例の維持療法 Selinexor vs placebo 第III相試験 (追跡中)	
			DOMENICA (ENGOT-en13) dMMR 進行再発例の初回治療 Dostarlimab vs TC 第III相試験 (登録中)	
			KeyNOTE-C93 dMMR (追跡中) (GOG3064/ENGOT-en15) TC vs Pembrolizumab 第III相試験	

子宮体癌基本手術：単純子宮全摘術+両側付属器切除術

後腹膜リンパ節手術：骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC：パクリタキセル+カルボプラチン

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬
Stage IA	Stage IA-IB 明細胞腺癌を除く 分化度G1: 卵巣癌基本手術 + 後腹膜リンパ節手術	JCOG1203 妊孕性温存治療 患側付属器摘出+大網部分切除 + 後腹膜リンパ節手術 + 腹腔内細胞診 ±対側卵巣生検±腹膜生検 + 術後補助化学療法(TC療法) (追跡中)	JGOG3020 (UMIN000008481) Stage IA~IC: 術後補助 化学療法 あり vs なし 第III相試験 (登録中)	低異型度漿液性癌/ 高分化類内臓癌 に アロマトーゼ阻害 薬/リユープリン/ タモキシフェン
Stage IB	Stage IA-IB 明細胞腺癌または 分化度G2-G3、 Stage IC-IIA:			
Stage IC	卵巣癌基本手術+後腹膜リンパ節手術 + 術後補助化学療法(TC療法)			
Stage IIA				
Stage IIB	Stage IIB~IV: 卵巣癌基本手術+ 可及的転移巣切除 + 後腹膜リンパ節手術 + 術後補助化学療法 (TC療法)			
Stage IIIA	オプション		DUO-O (NCT 03737643) 周術期化学療法+維持療法 TC+Bev→Bev vs TC+Bev→Bev+ Durva vs. TC+Bev+Dur va→Bev+Dur va+Olap 第III相試験 (追跡中)	ベリパリブ、 アテゾリズマブ、 デュルバルマブ アベルマブ タラソパリブ ルカバリブ ニボルマブ
Stage IIIB	III期以上で、 (Bev併用+維持)			
Stage IIIC	(ddTC療法) (BRCA変異陽性でOlap 維持)	(臨床的に) Stage IIIC以上		
Stage IVA	(HRD陽性でBev併用 →Olap+Bev維持)	術前化学療法も選 択可。		
Stage IVB	(Niraparib維持)			
プラチナ抵抗性	リポソーマルドキソルピシン*、トポテカン*、 ゲムシタピン、イリノテカン、エトポシド、 毎週投与パクリタキセル* *オプションでBev併用		KEYNOTE-B96/ENGOT-ov65(NCT05116189) ペンブロリズマブ+パクリタキセル±Bev vs. Placebo+パクリタキセル±Bev 第III相試験 (登録中)	セディラニブ、 アテゾリズマブ
プラチナ感受性	TC*、ゲムシタピン+カルボプラチン*、 リポソーマルドキソルピシン+カルボプラチン *オプションでBev併用。Olap維持。Niraparib維持。 HRD陽性かつ3レジメン以上の治療歴を有する症例で Niraparib単剤			

卵巣癌基本手術：単純子宮全摘術+両側付属器切除術+大網切除術
 後腹膜リンパ節手術：骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Bev：ベバシズマブ、Olap：オラパリブ
 ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎、Durva：デュルバルマブ